

平成 26 年度 事業 報告 書

(1) 平成26年度を省みて

近年、少子高齢化の急速な進展などに伴い社会経済情勢が大きく変化してきておりますが、私たちは公益目的達成のため、事業の取り組みに力を注いでまいりました。

地域における「知の拠点」の一つとして、大切な文化財を次世代に伝え残す使命を鑑みながら、26年度は、永年の念願でもございました勝山市と勝山城博物館が、新しい発展をしていくため、連携協定を結んだ記念すべき年でした。

その初めての共催による事業、第1回特別展「幕末・維新勝山の人づくり」～教育と産業の歩み～の開催は、市教委の宝珍学芸員や当館の林学芸員等により、地域の文化や自然、産業等調査研究を行った収集データを基に、100日間に及ぶロングランで、期間中4回の記念講演会も含め開催されました。小学生中学生がうまく博物館を利用し、学習体験の場として機能していく働きかけもいたしましたが、地の利に恵まれないお城まで、子ども達にどうして足を運んでもらうかが大きな課題として残りました。

継続事業の一つ、「勝山城清明茶会」も、大勢の方々の暖かいご支援に護られ8回目を迎え、今では北陸一のお茶会となり、金沢や京都までも広く浸透し、多くの方々のご臨席を賜りました。各々のお席のお道具の取り合わせや、郷土料理を加えてのご馳走の数々、「御茶一服」をどんなにかおいしく味わうことができたのではないかと思います。お帰りには、平泉寺やゆめおーれにお立ち寄りいただくお客様も有り、まち興しの一大イベントの一つにも繋がっているのではないかと思います。

二つ目の継続事業の「お城を描こう」～お城と共にあるく～は、年々内容も濃くなり、サブテーマの～お城と共にあるく～を加え、子ども達は勿論大人の応募も呼びかけ、勝山市が掲げるジオパークによるまちづくりの一端を担うべく、従来のお城の写生だけに留まらず、お城や武具などの展示品の一コマと勝山の自然を結びつけた絵画として募集しました。この事業は勝山市が掲げるわがまち魅力発酵事業補助金対象となっており支援も受けております。

また、ユニークな活動として、ジャズやゴスペルコンサートは、老若男女入り乱れ、かなりのリピーター様方により盛り上がっております。また、カフェテラス的雰囲気のアプローチを設え、つかれた喉を潤しながら賑やかな一時を過ごしました。

他にも勝山市が主催するフォトコンテストに友の会有志が応募するべく講師を迎えて勉強会を開き、お城をテーマにした素晴らしい写真が提出されました。結果、特選を始め幾つかの賞をいただき素晴らしい成果を得ることが出来ました。

そして「地域参画型博物館」としての活動にも力を注ぎ、友の会の皆様のボランティアによる博物館の事業のお手伝いをはじめ、文化部会、研修部会、広報部会に分かれ誰もが気軽ににお城に出入りし、各部長を中心に、それぞれ縛られることなく楽しみながら活動を広く展開しております。

最後に広報活動は、口込みによるものが一番の効果があるようで、チラシやホームページ、新聞広告などを利用してのPR活動も積極的に行ってまいりました。また、地域のかつちまHUBによる放送にも出演、地元にはハブの放送基地がないため、丹南で放送されておりますが今後期待するところでございます。

目まぐるしく変化する社会動向の中で、はるか彼方の勝山城博物館の将来像を見つめ、普及活動の在り方と意味を考え、精一杯の知恵と体力を傾け、より充実していくことに励んでまいります。

(2) 入館者の状況

今年度入館状況

有料入館者数				入館料 (円)
大人	小人 (小中高生)	減免者	合計	
7,872 人	1,176 人	230 人	9,278 人	3,898,360 円

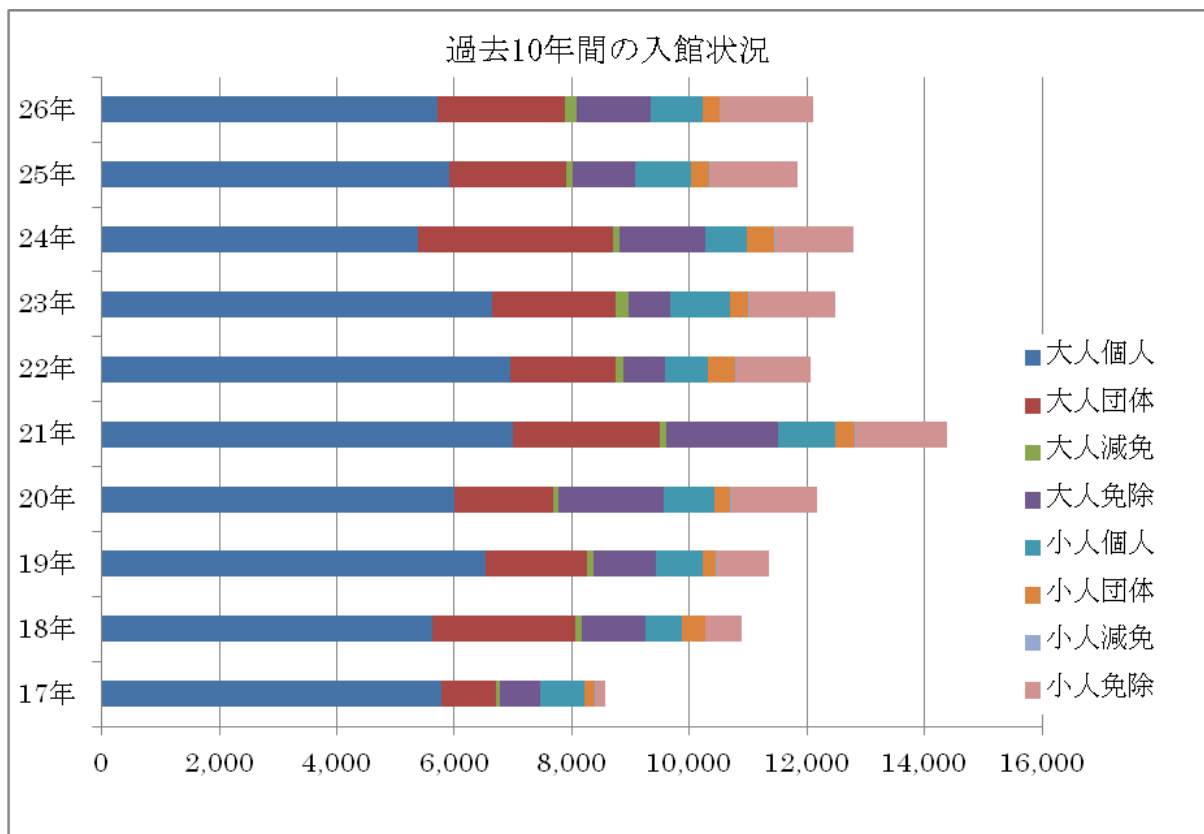
免除者数				入館者総数	摘要 その他は幼児、 障害者付添、友 の会員、イベン ト関係者、学校 引率、取材等
児童・生徒	公務等	その他	合計		
1,574 人	60 人	1,187 人	2,821 人	12,099 人	

○ 開館日数 326 日

○ 1 日平均の入館者数 37.1 人

○ 26 年度は入館者 12,000 人を再び回復し、入館料収入も微増いたしました。入館者の傾向としては、夏休み期間中に特別展を開催できなかったものの、特別展期間の入館者数は 25 年度より約 700 人増え、特別展の効果が現れました。一方で年間を通じては全体の 75% を占める大人の入館者数が伸び悩みました。

実際のご来館者やお電話によるお問い合わせでも、勝山の歴史を知ることのできる展示についてのものが多く寄せられます。幸い勝山出身の書家西脇呉石による一大コレクションをお預かりしておりますので、この作品群調査と整頓をできるだけ早く行い、この博物館でしかできない特長ある展示を作り上げアピールしていこうと考えております。



(3) 常設展・企画展等の実施状況

①常設展示

【6階】展望室となっており、勝山市街地や国史跡平泉寺旧境内を一望できます。

【5階】展望室に加えて「平泉寺の歴史」を金栄健介氏の絵で紹介しています。

【4階】企画展室があり、日頃は勝山の歴史を紹介する「勝山の歩み」コーナーなっています。特別展も同会場で行われます。26年度は特別展後、その成果も織り込んだ展示替えを行いました。向かいには「中国刺繍展示室」があります。

【3階】大名家の甲冑を中心に武具や合戦図屏風、小袖などを展示しています。刀剣や染織を中心に定期的に展示替えを行っています。新年の特別陳列もこのフロアで一部ケースの展示替えをして行います。

【2階】今井俊満作障壁画「日本の四季」があり、各種コンサートや講演会会場となります。その他左義長紹介コーナーや和室があります。

【1階】当館の100分の1模型、建設時の記録、多田清翁の紹介コーナーのほか、ミュージアムショップを設置しています。

②平成お天守塾第8回勝山城清明茶会

会 場 4階企画展室、2階ホール、和室「蘭月の間」、北庭園東屋

期 日 4月20日(日)

チケット 茶券 6,500円 野点券 300円

参加者 171人

茶券販売 1,026,000円 野点券 4,500円 お祝金 422,500円 合計 1,453,000円

主 旨 当茶会も今回で8回目を迎えました。それぞれのお流儀、先生方のご趣向を生かして、今回も濃茶席・薄茶席・野点席・点心席を設けました。茶の文化を地域に広め、日本の精神を体感する事の出来る大切な事業と捉えております。

北陸最大級の茶会として浸透・定着してきたこともあり、今回も新聞・テレビ等のマスコミ取材の他、県の内外から多くの方々にご来館いただきました。ご満足いただけたとの声を多くの方からいただいたことは、確実に当館のイメージアップ繋がっているものと感じております。今後も特別展以外の当館を代表するイベントの一つとして継続し、かつ積極的にアピールをしてまいりたいと考えております。

また、今回も事業収支の段階で黒字を確保し、別途入館料収入を含めると51,718円の黒字となりました。



③納涼花火見物&ナイトミュージアム

会場 6階展望室

期間 8月14日(木) 20:30~21:10 入館者数 43人

【収入】合計 18,100円

主旨 花火見物は午後8時から9時まで、6階展望室に椅子を設置して行いました。展示室の夜間観覧も例年通り実施し、いつもと違う雰囲気を経験していただけたものと思います。花火見物の新たなスポットとしてより浸透させるとともに、当館が幅広く活動していることのアピールの一つにしていきたいと考えております。



④勝山城博物館・勝山市連携第1回共催展「幕末・維新かつやまの人づくりー教育と産業の歩みー」

会場 4階企画展室

期日 8月30日(土)~12月7日(日)

料金 大人700円、小人260円

入館者 4,469人

【収入】1,684,545円



主旨 勝山市との連携が結ばれ、記念すべき第1回の展覧会を開催いたしました。これまで勝山市では歴史遺産の総合展示ができる歴史博物館がなかったことから、当館の展示室を活用して様々な角度から主に勝山地域の歴史を捉えた展覧会を開催していく予定です。

第1回は勝山市制60周年を記念して、現在の勝山に直結した幕末から明治時代を取り上げました。藩校「成器堂」以来の明治の教育と、タバコ生産に始まる勝山の代表産業を紹介するとともに、それを支えた人々を多くの写真を交えて取り上げました。

準備の関係上夏休みを開催期間に含めることができませんでしたが、次回以降は一番多くの客足が見込める夏休み前から開催する事で、より多くの方々に足をお運びいただけるよう検討してまいります。

⑤「お城でジャズ〜平井景スペシャル◆中秋特別編成”五重奏団”-TOUR2014-

会場 2階障壁画ホール

期間 9月20日(土) 入館者数 151人

【収入】合計 59,920円

主旨 25年度に貸館事業で好評を博したジャズコンサート



を、26年度は共催の形で開催いたしました。全国で活躍するプロのコンサートということもあって県外からの来館者も多く、急ぎょチケットを20枚増刷して対応いたしました。今回はステージを設けない会場構成とすることで、より臨場感をお楽しみいただけたと思います。

⑥ゴスペルコンサート「お城でゴスペル」

会場 2階障壁画ホール

期間 10月5日(日) 入館者数 68人

【収入】合計 89,520円

主旨 第2回のゴスペルコンサートを開催いたしました。今回は勝山市と福井市からアマチュアグループをお呼びしました。休憩時にはお菓子を召し上がっていただけるスタイルとし、よりリラックスした中で演奏を楽しんでいただけたと思います。今後も地元団体の活動を盛り上げるコンサートとして開催していきたいと考えております。



⑦純邦楽コンサート「福井大学邦楽部純邦楽のしらべ」

会場 2階障壁画ホール

期間 11月15日(土) 入館者数 152人

【収入】合計 0円(関西文化の日のため)

主旨 特別展覧会に付随した事業の一つとして福井大学の邦楽部による、お箏・三絃・尺八の純邦楽コンサートを開催いたしました。このコンサートを目的に来られた方々はもちろん、福井大学の学生に実際当館を見ていただく機会となったことも、今後の事業展開の上でプラスになるものと感じております。今回は偶然関西文化の日と重なりましたが、次回は9月の通常開館日に開催を検討しております。



⑧平成お天守塾第9回越前勝山城絵画作品展「お城を描こう」

会場 2階障壁画前ホール

期間 6月20日(金)～12月9日(火)

展示期間中入館者数 615人

【収入】合計 672,310円(うち補助金 322,090円)

主旨 今回はテーマに「お城と共にあるく」を加え、応募対象も従来の子供限定から広く一般にまで拡大いたしました。画題や画材についても範囲を広げ、子どもたちの豊かな想像性を育てるだけでなく、より多くの方に注目してい



ただける絵画展となりました。今回は一般の部設定第 1 回ということもあり大人の方の募集は伸びませんでした。例年のように博物館で写生する子どもの姿も多く見られ、表彰式には多くの親子連れにご参加いただきました。市内外に当館をアピールできる有意義な事業と考えております。

この事業は財団の勝山市エコミュージアム協議会の補助金を得ております。総事業費の 10%は当館の支出である必要があるため、事業のみの収支は赤字となりますが、その分多くの親子連れに当館を訪れていただく貴重な機会になっております。できるだけ新たな要素を織り込みつつ、今後も中長期的な視点に立って事業を継続していきたいと考えております。

◎新春特別陳列・新収品展

会場 3 階展示室の一部

期間 26 年 1 月 1 日（木）～1 月 20 日（火）

入館者数 170 人

【収入】 58,860 円

主旨 新春恒例となった当館蔵の屏風展示に加え、今回は通常一括して観ることの少なかった印籠や鞍を中心に蒔絵に焦点を当てた展示を行いました。26 年度に新規に受け入れた作品もあわせて展示いたしました。

主な展示資料



「川中島合戦図屏風」「賤ヶ岳合戦図屏風」「淀の水車図蒔絵鞍」「梨子地桐に鳳凰紋蒔絵水干鞍」「松樹館図印籠」「鳶図印籠」「兜図印籠」「秋草図印籠」「竜虎図印籠」「山水楼閣図印籠」「山水唐人図印籠」「萩原秋巖筆五絶憫農」

(4) 主な文化・貸館事業

①月例茶会

会場 2 階和室「蘭月の間」

期間 4 回(5 月、7 月、9 月、11 月の第 1 日曜日)

利用者 大人 117 人、小人 7 人 1 回平均 31 人

主催 勝山市茶道連合会（荒井敏子代表）・勝山城博物館共催

勝山市茶道連合会に加入している 7 会派と協力して、茶道に親しみ博物館への理解を深めてもらうための文化活動の一環として始まった月例茶会も 11 年目を迎えました。昨年度よりも参加者が 4 割増となりました。

②貸館事業

茶会・各種コンサート・ピアノ発表会等で利用されました。

5月9日（金） 俳句会

5月24日（土） 俳句会

7月20日（日） ファミリーコンサート

8月16日（土） 雲龍笙子さんによるチェロ演奏会

9月28日（日） 村井ピアノ教室発表会、

10月28日（火） 奥越法人会絵本寄贈式

11月14日（金） 中国浙江省麗水市文化交流訪問団展示会

（5）その他の社会教育関連業務

①勝山城友の会活動

①講演会

「博物館あれこれ-全国各種博物館の実情と個別事例-」

講師 勝山城博物館学芸員 林淳

4月26日（土）14時30分～16時00分 参加者数24人

会場 4階企画展室

②春の館外研修

滋賀県長浜市・米原市〔研修部〕

5月28日（水）

木之本地蔵院、大河ドラマ館、己高閣、世代閣、

醒井宿資料館ほかを見学 参加者数38人



③展示会

勝山城友の会「わたしのとっておき宝物展」

〔文化部〕

8月10日（日）～9月15日（月） 作品出品者数18人・72点

会場 2階鯉模型前

④写真教室〔文化部〕

6月8日（日） 参加者数15人

⑤版画教室〔文化部〕

講師 石畝弘

11月1日（土） 参加者数8人

11月15日（土） 参加者数8人

11月22日（土） 参加者数8人

会場 2階館長室

⑥作品展示・撤収

- ・勝山城友の会「わたしのとっておき宝物展」の展示・撤収ボランティアの会有志による 8月9日(土)、9月15日(月)(延べ18人)
- ・勝山城博物館「お城を描こう絵画展」の絵画展示・撤収ボランティアの会有志による 11月7日(金)、25日(火)(延べ21人)

⑦勝山城友の会だより第21号の制作 [広報部]

平成27年1月30日発行

②石碑見学会

第1回 11月8日(土) 勝山市役所周辺

第2回 11月23日(日) 長山公園周辺

勝山市史編さん室の山田先生にご案内いただきながら、約1時間半ほどかけて市内の石碑を見学するツアーを開催いたしました。途中参加の方も含め、各会10名ほどの方にご参加いただきました。



③館蔵資料貸し出し

- ・「賤ヶ岳合戦図屏風」9月24日～11月28日
- 特別展「天下人への道-信長、秀吉、家康の合戦-」展(名古屋城天守閣)

④学芸員による講演など

- ・「博物館あれこれ-全国各種博物館の実情と個別事例-」
4月26日(土) 勝山城友の会講演 (会場) 勝山城博物館4階企画展室
- ・「書家西脇呉石」
6月20日(金) 福応会(福井大学OB会)講演 (会場) 勝山市魚せい和室
- ・「博物館」の現状と課題
8月8日(金) 総務省福井行政評価事務所研修講演 (会場) ホテルハーヴェストスキージャム勝山
- ・「書家西脇呉石」
10月7日 勝山市さわやか大学 (会場) 勝山市教育会館3階
- ・かっちゃんHUBゲスト出演
12月6日 (会場) と之蔵スタジオ

(6) 財団の運營業務等

1. 役員等の現況 (平成 27 年 3 月 31 日現在)

職 名	現 員	定 数	摘 要
評議員	7 名	3 名以上 12 名以内 (定款第 10 条)	
理 事	7 名	3 名以上 12 名以内 (定款第 22 条)	
監 事	1 名	3 名以内 (定款第 22 条)	

2. 職員等の配置 (平成 27 年 3 月 31 日現在)

職名・氏名	人 員	事 務 分 掌	摘 要
事務局長 深谷 久枝	1	財団・博物館の事務統括	博物館館長兼務
事業課長 林 淳	1	学芸・事業に関する事務の統括、 学芸業務全般	学芸員
総務課 酒井 治	1	庶務・会計事務の統括	総務課長代理 防火管理者
総務課 木下 絹代	1	庶務・会計に関すること	
事業課 光仙 陽子	1	受付・案内等に関すること 友の会事務局担当	
清掃員 山西 陽子	1	博物館内外の清掃に関すること	パート雇員
合 計	6 名		

3. 理事会の開催状況

開催期日	会議の要旨	摘要
平成 26 年 6 月 13 日	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成 25 年度事業報告書承認の件 2 平成 25 年度決算報告書承認の件 3 「定時評議員会の日時及び目的である事項等」の件 	定例理事会会場 勝山城博物館
平成 27 年 3 月 12 日	<ol style="list-style-type: none"> 1 基本財産の一部取崩の承認の件 2 平成 27 年度事業計画書(案)承認の件 3 平成 27 年度収支予算書(案)承認の件 4 勝山城博物館の設置及び管理に関する規則の一部改正の件 5 「臨時評議員会の日時、場所及び目的である事項等」の件 6 基本財産の有価証券の償還の件 	定例理事会会場 勝山城博物館

4. 評議員会の開催状況

開催期日	会議の要旨	摘要
平成 26 年 6 月 30 日	<ol style="list-style-type: none"> 1 議長の選出の件 2 議事録署名人の選出の件 3 平成 25 年度事業報告及び決算書類の承認の件 	定例理事会会場 勝山城博物館
平成 27 年 3 月 24 日	<ol style="list-style-type: none"> 1 基本財産の一部取崩の承認の件 2 平成 27 年度事業計画書(案)承認の件 3 平成 27 年度収支予算書(案)承認の件 4 基本財産の有価証券の償還の件 	評議員全員の同意によりみなし評議員会成立

5. 平成 26 年度財務会計の決算概要

平成 26 年度決算書類（資金ベース）の状況については第 2 号議案により詳細に報告することとし、ここではその主な概要のみを記載いたします。

項 目	金 額 (円)	摘 要
収入総額	10,341,873	
ア 基本財産収入	486,897	利息
イ 事業収入	8,853,774	入館料、展示・催事料金、賃貸料、施設等使用料、物品販売
ウ 補助金等収入	733,917	勝山市エコミュージアム協議会わがまち魅力発酵事業補助金、勝山市特別展補助金
エ 負担金収入	17,500	看板地代
オ 寄付金収入	18,417	個人寄付金、募金
カ 雑収入	231,368	自販機、コピー、利息、印刷物
支出総額	27,301,037	
ア 事業費	23,090,259	博物館事業、郷土芸能生涯教育振興事業、不動産賃貸事業、売店施設等利用事業
イ 管理費	3,210,778	法人会計（管理事務費）
ウ 特定資産取得支出	1,000,000	30 周年記念事業積立
エ 予備費支出	0	
当期収支差額	△16,591,164	
前期繰越収支差額	20,979,372	平成 25 年度より
次期繰越収支差額	4,020,208	次年度への繰越額

以 上